

社民党

# 渡辺みのる通信

● 第 22 号 ●

発行日/2013年(平成25)1月(12月議会号)  
 発行/渡辺みのる後援会  
 石川町大字北山形字引地1  
 電話&FAX 0247-26-6994  
 携帯 090-2798-0434



写真説明

雪が降った朝早く、太陽の光が粉雪に遮られて、幻想的な白い世界に出会いました。見慣れている風景も、ほんの一瞬、すばらしい世界を見せてくれました。

## 明けまして おめでとうございます

新しい2013年が皆様にとりまして、幸多い年となりますようにお祈り申し上げます。

12月議会は一般質問を8人が行いました。私は「畜産振興について」「第5次総合基本計画後期計画について」の2つの課題について、町の考え方をただしました。

更に、1月11日臨時議会が開かれ、長年の懸案であった新庁舎の位置を「字長久保」へ変更する条例が提案され、可決しました。

同時に、市街地活性化に向け「まちなか再生行動計画策定方針案」が示され、12月までに計画を策定します。

今年も皆様のご指導をいただきながら、議会活動に頑張りますので宜しくお願い致します。



## 初めをつくった正月飾り

今年の正月の準備は、母が高齢で出来なくなり、大変でした。先ず、神棚に飾る松の準備は、その干支によって、お迎えする方角が違うとか。

つぎに松にかけるしめ縄づくりが出来ない。稲わらの準備はできたが、縄をよれない、それも普通の逆によるとか。今年は普通よりで勘弁して頂いた。

さらにしめ縄につける幣束が切れない。インターネットで見つけて取りかかると、どうも上手にいかない。

どうにか、形になった時には夜中になっていました。

台所と井戸、産土様にも松飾りを供える。昔は、門口の両側に背丈ほどの杭を打ち竹と松で飾っていた。

親戚や隣家の正月飾りを見ると、家ごとに違い、家風を感じた。手作りでのお正月に気持ちもさわやかでした。



田畑珠鳳さんの巳の彫刻

## 一般質問から

**渡辺：4月からの石川家畜市場閉鎖に、町の対策は。**

**町長：生産農家が困らないように対策、子牛の輸送費は管内で協議し、助成する。**

**渡辺** 4月から石川家畜市場が閉鎖になり、生産農家は大変になる。畜産は子牛売上額、2億円もの大きな産業で、維持・振興しなければならない。町の対策は。

**町長** 本宮市場への移転で新たな負担への助成を検討しています。

**渡辺** 1つは運送費が大変、町は補助をだすのか。

**町長** 管内町村と連携し、運送費の助成を検討します。

**渡辺** もう1つは、今まで石川郡畜産農業協同組合が行ってきた登録検査、生産検査、共進会、育成や管理指導などが円滑に行われるかである。

**町長** あぶくま石川農業協同組合が業務を引き継ぐようですが、畜産農家に不安を与えないように対応していきます。従来より悪くならないようにします。

**渡辺** 長期の畜産振興計画を立てて振興する必要があります。計画策定の考えは。

**町長** 前向きに検討します。

## 臨時議会で、新庁舎の場所 字長久保に決定

1月11日、第1回臨時議会が開かれ、役場庁舎の位置を現在地から字長久保(現J Aグリーンセンター敷地)に変更する提案がされ、賛成9人、反対4人で可決しました。

長年の懸案であり、老朽化が著しく、今回の地震で危険建物である役場庁舎の新築が進むことになりました。

渡辺議員は次の理由で、賛成しました。

①市街地周辺には防災や交通上から適地がない。

長久保も面積が狭い、進入路が1ヶ所、国道から出入りが大変などの課題も多いが、将来性を見て、ベターな場所と判断しました。

②市街地衰退の不安に対し、町は「まちなか再生行動計画策定方針案」を示し、12月までに計画を策定し市街地活性化に具体的に取り組むことになりました。

③役場庁舎建築は、今回先送りすることは出来ない問題



放射能で廃棄されたシイタケの原木保管状況



3月で閉鎖となる石川家畜市場

であり、否決となって、前回同様に長期間建設が困難になることは避けたいと判断しました。

しかし、今後の課題も多くあります。

①長久保地区のアクセス道路改良、出入り口の安全対策、狭い面積などの解決と将来展望の計画が必要。

②まちなか再生施策を実行し、市街地衰退に歯止めをかけるようにする。

③交通弱者が不便になることへの対策を行う。

④高齢者が安心して暮らせる環境をつくる。

役場移転によって、生じるこれら課題を解決し、将来、さらに町が発展するようがんばります。

## 子どもの未来のために②

### 平田村吉田葵彩ちゃんの手術の成功を 体罰は教育でない、体罰はしつけではない

1月22日に、平田村の吉田葵彩ちゃんが心臓移植に向けてアメリカに向かいました。なんとか命を救ってあげたいと思う人々の善意が、約2億円もの募金という大きな力につながったのだと思います。心臓移植には、脳死した心臓を持たなくてはならず、多くのハードルを越えなければならない厳しいものだと聞いています。

しかし、幼い命に心を寄せることで、私たちの気持ちも救われ、生きていることの喜びを感じる事ができたのではないのでしょうか。子どもは、やはり未来の希望であり、すばらしい存在だと強く思います。

一方、部活動での「体罰」が連日取り上げられています。渦中の顧問は、「体罰は、部を強くするために必要だと思った」と答えているそうです。残念ながら家庭での子どもの虐待も増えています。「体罰は教育ではない」「体罰はしつけではない」と多くの大人が知っています。

子どもに対する“暴力”をなくすためにできることとは？ヒントは“ことば”にあると思います。あたたかな励まし、いじめや暴力を否定し、いけないことを説き導き、ともに喜び合える率直な反応など…。

やさしさをことばに示しましょう。大切な存在には、暴力を振るえないものです。

(K・H)

**渡辺：第5次総合計画後期計画で、若者に住んでもらえる政策を  
町長：来年子どもの甲状腺検査を実施、周産期小児医療の確保に努力**

**渡辺** 人口減少に歯止めをかけるには、若者に住んでもらうことである。まず、放射能対策を国の規準より、厳しく対策できないか。

**町長** 町独自の規準を作ることは今後の課題とします。

**渡辺** 子どもの甲状腺の検査はいつになるのか。

**町長** 25年度に実施します。その後は20歳までの方は2年ごと、20歳以上は5年ごとの検査となります。

**渡辺** ホールボディカウンターの検査は。

**町長** 24年度4歳から18歳ので子どもを実施した。毎年やるかどうか、今のところ分からない。

**渡辺** 県民健康管理基本調査の回収率が悪い、町民の放射能対策の基本となるもので、回収率上げる対策を。

**町長** 町民の回収率は19%と低い、回収を促進します。



◀ 昨年、8月安達太良山で見つけたアサギマダラ

**渡辺** 2点目は、働く場所の確保、企業誘致は。

**町長** 報告できる段階にはない。強く取り組む。

**渡辺** 新規農業者ばかりでなく、いろいろな職種で起業する人を支援する制度、人への投資を考えて欲しい。

**渡辺：子どもの放課後対策に充実を  
町長：法律で6年生までが対象に、今後検討**

**渡辺** 第3点目は住宅である。若者への住宅政策は。

**町長** 25年度で、若者のニーズもとり入れた公営住宅長寿化計画をつくり、対応します。

**渡辺** 4点目は子どもを育てやすい環境づくりで、学校統合で要望の多い放課後の児童対策はどうなるか。8月に法律改正があり、内容が変わったが。

**町長** 対象の子どもが、10歳未満から小学6年生までとなり、対応は今後検討します。

**渡辺** 保護者の要望に答えられるようにして欲しい。

**監査委員の選任で、議会が同意  
沢井の水野光成さんが就任**

町監査委員に沢井の水野光成さんが同意されました。水野さんは62歳、長くあぶくま農業協同組合に勤められ、現在は同農協の理事、農業委員、古内区長及び沢井区長会長をされています。その後、水野さんは代表監査委員に就任されました。



◀ 古殿町の画家、生田目満風の巳

**渡辺** 第5点目は医療の問題である。先日、須賀川、岩瀬及び石川地方医療懇談会が発足し、その中で、周産期小児医療の課題が取りあげられているが。

**町長** 福島病院が周産期小児医療の拠点に指定を受けているが、岩瀬公立病院との関連で、広域での対応が求められており、管内で協議し対応します。

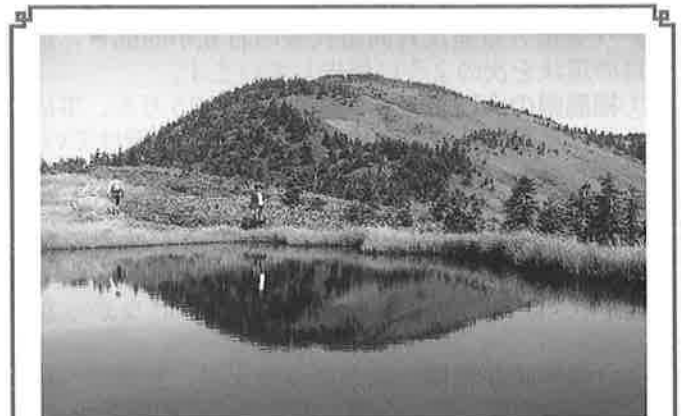
**渡辺** 分娩や小児科は、若い人たちには大変重要な問題であるので、須賀川に残るように対応して欲しい。

又、石川地方の医療を守るために、行政と医療機関や医師会と検討する場を設置するよう要望します。

**3億3千万円を追加補正  
基金に1億2千万円積立**

一般会計の12月補正は3億3千9百万円の増補正となり、歳出の主な事業は次の通りです。

- 基金積立に1億2千9百万円
- 長久保団地の地滑崩落対策に1億6百万円
- 道路維持補修に1千9百万円
- 北山のデジタル放送受信施設に1千7百万円



日本百名山のひとつ、会津駒ヶ岳、池と山頂

1964年(昭和39)、深田久弥は日本の数ある山から、百座を選んだ。選定の3点は①山の品格、②山の歴史を尊重、③個性のある山であると述べている。この山は「南会津の奥深いところに立っている。檜枝岐村はずれの橋を渡ると、登山道である。細い尾根をぐんぐん上っていった。頂上は私が今までに得た多くの頂上の中でも、最もすばらしい1つであった。ただ1人この山に在るという幸福感が私を恍惚とさせた。少し有頂天になり、下山で道にまよってしまった。」と記している。

# 4月に策定委員会を設置し、12月に「まちなか再生行動計画」を策定 市街地活性化に向けて、やっと、一歩踏み出す

## …町が提示した「まちなか再生行動計画」策定方針案…

### 【目的】

中心市街地が、商業のみならず生活や交流の場であり、また長い歴史の中で独自の文化や伝統を育むなど、まちの活気や個性を代表する「顔」ともいべき場所であることから、深刻化する中心市街地の衰退・空洞化という課題に対処し、まちなかの活力と賑わいを創出するため「まちなか再生委員会」を設置し、まちなか再生行動計画を策定する。

### 【策定組織及び機関】

策定主体：石川町  
参加組織：石川町商工会、町づくり団体、地域住民等  
策定期間：平成25年4月 まちなか再生委員会設置  
平成25年12月完了。  
平成26年度より計画により事業化。



12月2日公民館で開かれた町史学習会

### 【指定エリア】

町有地を核とし、商業、業務施設、神社仏閣、自由民権史跡等の市街地特有の環境資源の分布状況により決定する。

### 【基本方針】

①<吸引力の創出>…交流、往来人口の誘導 ②<快適利便性の向上>…快適で訪れやすい空間の創造  
③<居住人口の誘導>…居住人口の回復

### 【整備改善方針】

①観光・物産拠点 ②コミュニティ交流拠点 ③歴史的文化遺産拠点 ④複合型住宅拠点  
場所：①本庁舎・分庁舎跡地 ②あさひ公園 ③旧石川小跡地 ④鈴木重謙跡地 ⑤県合同庁舎跡地

### 【整備改善事業】

①コミュニティ施設の設置 ②史跡公園の整備 ③イベントひろばの整備 ④直売施設の整備  
⑤住宅政策の展開 ⑥駐車場の整備

## これで良いのか! 原発事故から1年10ヶ月、福島は今

双葉地方原発反対同盟代表の石丸小四郎さんは福島の現状を次のように報告しています。

- ①**福島県の人口激減**…10月現在で195万人、事故前より6万4805人減少。毎月1800人減少し続けている。避難者は16万3千人、県外6万人。自主避難者は含まず。
- ②**震災関連死**…認定者は9月末で1121人、原発事故で病院に残された重篤患者、介護施設入居老人(移動中)、自殺者、津波の現地で救助されなかった人など。
- ③**介護申請が激増**…双葉郡の要支援、要介護の新規認定者数が震災前の3倍、原発震災が拍車をかけた。
- ④**出産激減**…県内で出産数が前年より約1千件、25%減少している。妊産婦が被ばくを恐れ県外で出産した。
- ⑤**屋外活動制限児童数約20万人**…学校で屋外活動が規制されている児童数が20万余人で、子どもへの影響が心配である。
- ⑥**疲弊する自治体労働者**…原発震災で自治体に働く人たちは長期の激務が続き、早期退職者が激増している。精神疾患で長期休暇者も増加している。
- ⑦**県土の3分の2が放射能管理区域同等かそれ以上**

に汚染…18歳以下立ち入り禁止であるが、そこに150万人が生活している。18歳以下の甲状腺の検査で、2012年甲状腺がんが1名に見つかった。

⑧**原発事故は終わっていない**…強調したいのは「原発事故は収束していない、進行状態である」「東電は廃炉作業を放棄する可能性がある」の2点である。

1～3号機は圧力容器の底が破れ、燃料がどろどろに溶け、超高温で格納容器に溜まっている。冷却水毎日480トン投入しているが容器が破損していて、水位が40～60センチ程度しかない。毎時1千ベクレルが地下、海水に放出されている。建て屋内部には高線量で入れない。ロボットは3台目も故障し、内部が分からない。汚染水が溜まり、2015年には70万トンになるため、海への投棄を主張も。

敷地内に4千2百万個の使用済み核燃料が溜まっている。1個で約3～5万人をがんで死なせる致死量をもっている。

⑨**14ヶ月で廃炉作業従事者は2万2224人**

被ばく線量からがん死者を推計すると105人となる。40年超とされる廃炉作業、労働者の使い捨ては早晩、供給が不能となり、廃炉作業自体が壁に突き当たる。廃炉に向けては国家管理と世界の英知の結集が不可欠である。

この報告から、いかに知らされていないか、収束でなく大変状態であることが分かります。